

コレラの流行に関するお知らせ（３月８日）

１．モザンビーク保健省の報告によりますと、当国北部・中部の５つの州においてコレラの流行が確認されています。２０１０年２月２７日までの集計では、本年に入ってから感染者数は２，１３０人（うち死亡者数３８人）となっています。モザンビーク国内の流行確認地域及び感染者数は以下のとおりです。

ザンベジア州	感染者数９１２名（うち死亡者数１７名）
カーボ・デルガード州	感染者数５３５名（うち死亡者数７名）
ニアサ州	感染者数４６７名（うち死亡者数１３名）
ソファラ州	感染者数１１８名（うち死亡者数０名）
ナンプラ州	感染者数 ９８名（うち死亡者数１名）

２．コレラとは

（１）コレラはコレラ菌（*Vibrio cholerae*）に汚染された水、氷、食品などを経口摂取することによって起こる下痢を主症状とする病気です。潜伏期間は数時間から５日で、その後、下痢や嘔吐などの症状がみられます。腹痛や発熱はほとんどみられません。コレラでみられる下痢は軽い場合から重い場合まで様々ですが、重い下痢の場合は多量の水のような下痢（米のとぎ汁様）となり、脱水症状を起こします。胃腸の弱い人や胃切除を受けた人、高齢者、乳幼児などは重症化し、昏睡状態に陥り死亡する例もあります。

（２）治療としては、下痢によって体内から失われた水分と塩化ナトリウム等の電解質の補給が主となります。脱水症状が激しい場合は点滴による治療が必要となり、抗生物質を併用します。

（３）予防方法について

コレラの流行地では、以下のような基本的な感染症予防対策を心掛け、下痢等のコレラ感染症状がある場合には、直ちに医師の診断を受けてください。

- 食事の前、トイレの後の手洗いを励行する。
- 食物は、十分加熱してから食べる。
- 飲料水や調理用の水はミネラルウォーターを使用する。水道水を利用する場合は、一度十分に沸騰させた後使用する。

- 氷は、安全な水から作ったと確認できるもの以外は使用しない（コレラ菌は、冷凍しても死滅しない）。

また、予防としてワクチンがありますが、効果は比較的低く 50%程度しか予防できないとされ、予防効果も 6 か月以上は持続しません。

以上